

# 品川区教育委員会会議記録

平成 23 年 第 4 回 臨時会

場 所 教育委員室

期 日 平成 23 年 7 月 19 日

開 会 午後 2 時 10 分

閉 会 午後 4 時 48 分

出席委員	委 員 長	安尾 久子
	委員長職務代理者	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	委 員	鈴木 敏夫
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	冠木 健
	品川図書館長	中元 康子

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 署名委員に細川委員、鈴木委員を指名。</li> <li>・ 日程第3 報告事項「都費教職員の任免等に関する報告について」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。</li> </ul>
---------------------------------	--

件名	日程第1 第41号議案  品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	原案可決

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（国語）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 統括指導主事より説明する （統括指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員C） ・ 説明の中で、小学校で習った漢字を7年生で習得するとあったが、どういふことか。 ・ 国の学習指導要領から考えると、中学校の教科書に小学校で習う漢字が教材として掲載されているほうが、使いやすいということか。</p> <p>（委員B） ・ 書く活動について、B社は他社に比べ分量が多いと説明があったが、分量の違いは、学習の効果に影響があるのか。 ・ 教科書内にある読書紹介の教材は、どのような効果があるのか。</p> <p>（委員E） ・ 読書習慣を身に付けるにあたって、具体的な対策はどのようなことを行っているか。</p> <p>（委員A） ・ A、B、D社の単元構成について、各社の特徴を教えてください。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（統括指導主事） ・ 学習指導要領では、各学年で学ぶ漢字はその学年では読むことを、次の学年では書けるようにするという指導方針をとっている。そのため、6年生で習う漢字を7年生のうち書けるようにするという形となる。 ・ 品川区の場合、小中一貫教育要領において各学年で習う漢字は、その学年で読み書きが出来るまで指導する方針をとっているが、中学校の教科書に小学校で習う漢字教材が掲載されていると、より丁寧に学習できると考えられる。 ・ 書く活動を単元に位置付けることは、年間を通じ定期的に学習することになる。国語は技能教科なので、短い時間でも少しずつ学習すれば、効果があると考えている。よって単元が多いと学習効果があると考えている。 ・ 読書に縁の少ない子どもにとって、本を紹介される機会も少ない。読書紹介の教材によって、より多くの様々なジャンルの本が紹介されることは、子ども達にとって読書に興味をむけるよい刺激になると考えている。 ・ 品川区では、自ら読書に親しむ子どもを育てたいと考えているが、5年生以降は読書の時数が大変少なくなる。教科書を通じて本を紹介し、自ら図書室に足を運ぶよう、刺激を与えることが重要だと考えている。 ・ 単元構成についてA社は、習得、活用、探究という項目立てにはなっているが、項目名と教材の組み合わせ方にやや疑問が残る。B社は、単元構成が綿密に計算され編集されており、完成度は高いと考える。D社は、配列が領域ごとであり、指導者は生徒に合った指導計画を立てる必要がある。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員C） ・ A社は読みを中心とし、読解力の面でよさはあるが、全体のバランスから言えばB社がよい。</p>

	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>品川区の現在の指導内容からすると、バランスの取れたB社が妥当と考える。</li></ul> <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>品川区の小中一貫教育要領に定めた国語科の内容に合致するB社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。</li></ul> <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>異議なし</li></ul>
議事結果	国語はB社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（書写）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 統括指導主事より説明する （統括指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員C） ・ 7年生では、行書の授業は年間何時間あるのか。</p> <p>（委員E） ・ 書写というと、毛筆のイメージが強いが、新しい学習指導要領では、硬筆と毛筆を合わせた内容となっているのか。</p> <p>（委員C） ・ 主体的に考えて書くとは、どのような意味なのか。またD社はその特徴がよく出ているとのことだが、どの点がそうなのか。</p> <p>（委員E） ・ 年間20時間の授業の中で、日常に活かすというのは非常に大切なことだと思うが、それをよく反映している教科書はどれか。</p> <p>（委員B） ・ D社の行書に対する教材の取り扱いはどのようなものか ・ D社と他社との違いを教えてください。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（統括指導主事） ・ 7年生の書写の配当時間は20時間であり、そのうち行書は、硬筆を含めて、10時間から15時間である。 ・ 新しい学習指導要領では、社会生活の中で生きる力を育てる点から、実用的な文字を速く書けるようにすることに重点を置いている。そのため硬筆、毛筆を共に扱う教科書となっている。ただし、どちらを先に行なうかは、各社の編集方針により分かれている。 ・ 主体的に考えて書く書写とは、文字の特徴を理解し、同じ特徴を持つ他の文字に発展させ、様々な文字に応用し書くことである。D社の特徴として、何を学ぶのかという「気づき」を大切にし、その「気づき」を元に「確かめる」ことで理解させる。そして関連性のある文字を示し、応用・発展させていく。このような教材の配列が、D社の大きな特徴となっている。 ・ 日常に活かす書写や生活に広げる書写というのは、8・9年生の指導事項にあるため、どの会社でも取り上げている。各社とも、それほど差がつく教材とはなっていない。 ・ D社は行書を教えるというよりも、文字を速く書くことを目的に単元を作っている。生徒には文字の特徴を説明し、それが何故速く書けるかを考えさせ、気づかせ、様々な文字に応用し、硬筆の練習をすることで発展させていく。また学んだことを活かし、毛筆でも練習をさせる教材となっている。 ・ D社との違いで、対照的なのがC社である。毛筆中心で、お手本を見て学び、書いて学ぶといった教材となっている。またB社、F社とは、手本として取り上げた意図を考えさせる活動を位置付けるか否かで、大きな違いがある。</p>

委員意見要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ D社は、意識を持って子どもたちに書かせるといった、目的がはっきりしている教科書である。</li></ul> <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ お手本が見やすいものがよい教科書と考えていたが、子どもたちに考えさせて書くというD社の取り組みはよいと考える</li></ul> <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ D社を推す意見が多い。D社で仮決定したい。</li></ul> <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 異議なし</li></ul>
議事結果	書写はD社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項</p> <p>平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（社会（地理的分野））</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づき説明</li> </ul>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理では、環境に関する教材の中で、エネルギー問題の記載があるが、各社の取扱いに違いがあるか。</li> </ul> <p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7・8年生で行う地理と歴史の授業の進め方はどのようになっているのか。</li> <li>地理と歴史を異なる教師が教えることがあるのか。</li> </ul> <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術分野でもエネルギー関連の教材があったが、社会科で学ぶ内容との間に違いはあるのか。</li> </ul> <p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>領土問題については、地理のみではなく社会科全体として指導を行なうということか。</li> </ul> <p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統計や資料、グラフ等は問題解決学習に必要な不可欠であるが、その充実度で教科書に順番を付けるとどうなるか。</li> </ul> <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A社には尖閣諸島の記載があるが、他社にはない。領土の問題を授業で扱う際、不都合はないか。</li> </ul>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー問題について、各社とも記載があるが、B社については新しいエネルギーも含め、一步踏み込んだ内容が書かれている。</li> <li>地理と歴史は、年間105時間で週3時間となる。一人の教師で授業を行う場合、交互に授業を行う。二人の教師が授業を行う場合、双方が2時間と1時間を分担し、入れ替えつつ、並行して授業を行なう。</li> <li>地理と歴史で、別々の教師が教えるケースもある。</li> <li>エネルギー問題は、技術以外に地理、公民、理科でも取り扱う。技術、理科では、どのようにエネルギーを得ていくか、有効に利用していくかを学ぶ内容となっている。地理、公民では、資源やエネルギーの消費の現状を理解させ、課題や環境について考えさせる内容となっている。</li> <li>領土問題は国際問題という側面もあり、地理以外でも社会科として、公民や地図帳を使い補完して指導する。</li> <li>統計資料の充実度では、B社、A社、D社、C社の順となる。</li> <li>北方領土と竹島については各社扱っているが、尖閣諸島についてはA社のみ、発展的教材として取り扱っている。領土についての授業は、教科書のみ使用するのではなく、地図帳等も活用し学習を深めており不都合はない。</li> </ul>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境については、教材の取扱いが多いB社が優れていると考える。</li> </ul>

	<p>(委員 B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>領土問題の記載が少ないとしても、地図帳等、他の教材を用い、授業内で適切に指導すればよい。全体のバランスは B 社がよい。</li> </ul> <p>(委員 E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7 年生になった子どもたちに基本を丁寧に教え、関心を高めている教材として B 社がよい。</li> </ul> <p>(委員 A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B 社は、領土問題がなぜ問題となるのか、なぜ大切なのかを述べている教科書である。</li> </ul> <p>(委員 E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B 社を推す意見が多い。B 社で仮決定したい。</li> </ul> <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異議なし</li> </ul>
議事結果	社会の地理的分野は B 社に仮決定する。



<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（地図）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員A） ・ 国境を示す線書き方で両社に違いがあるところがあるかどうか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長） ・ 排他的経済水域の示し方との関連と考えられるが、出版社に確認する。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員D） ・ 大変見やすい教科書となっているA社がよいと考える。</p> <p>（委員C） ・ 日本列島が全て確認できるA社がよい。</p> <p>（委員B） ・ A社は、山の色の表現など見栄えのよい教科書になっている。</p> <p>（委員E） ・ 見やすさからA社を推す意見が多い。A社で仮決定したい。</p> <p>（委員一同） ・ 異議なし</p>
<p>議事結果</p>	<p>地図はA社に仮決定する。</p>

件名	日程第3 報告事項 都費教職員の任免等に関する報告について
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。